

冬に走りにくいところはどこ？

整理

分析

可視

プローブデータは走行の情報と共に用途の情報を持っています。

ここでは走行特性の違う車両が走る時期によってどんな変化が起きるのか…

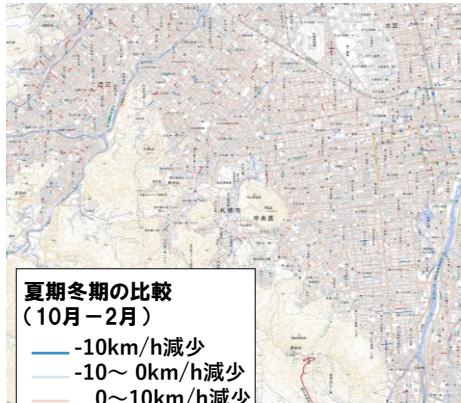
『車両を季節で走行速度を集計して算出』した結果の図化です。

位置情報や速度、加速度を季節ごとに整理することでどんな速度の変化が起きるのか？を把握することが可能なのかを確かめてみました。

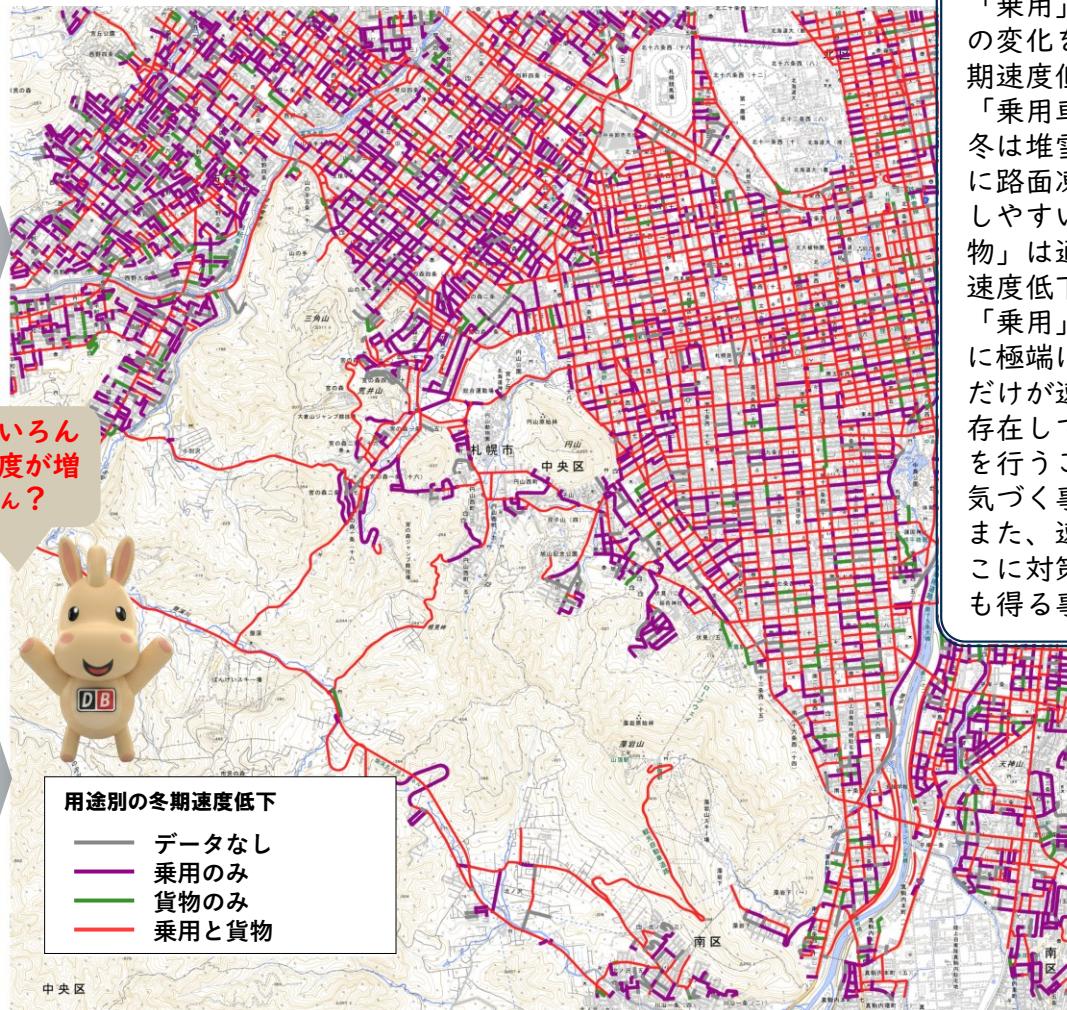


ピアード

■乗用



■乗用と貨物の冬期速度低下



「乗用」と「貨物」のそれぞれの速度の変化を確認しましたが、用途別の冬期速度低下を重ね合わせてみると。

「乗用車の低下区間が多め」
冬は堆雪により道幅が狭くなるとともに路面凍結などにより速度低下が発生しやすい状況が広く見られます。「貨物」は通年で速度超過が少なく冬期の速度低下も自然なものだと思いますが、「乗用」は夏期に速度が出やすく冬期に極端に速度低下が発生して「乗用」だけが速度低下を発生している区間が存在しているのかもしれません。図化を行うことにより地形を含めた改めて気づく事ができます。

また、速度超過を減らすためには、どこに対策が必要なのかといったヒントも得る事ができるかもしれません。

■貨物

